

# 施策分析シート

No1

施策名	小児医療の充実	施策No	11-04	部課名	健康部健康推進課		
				課長名	伊津野 孝	内線	420
関連部課名	健康部生活衛生課、保健予防課						
行政評価	分野	健康・福祉・子育て					
事業体系	政策	安心して子育てができる社会の実現					

目的	医療体制の整備と感染症予防の強化等により、子どもの健康の保持・増進を図る。
----	---------------------------------------

指標	施策の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値 (28年度)	
①	平日準夜間小児初期救急医療受診者数	—	—	1,200	—	
②	麻しん接種率	82.3%	84.7%	84.4%	100.0%	1歳6ヶ月児健診時に把握
③	BCG接種率	98.5%	96.3%	97.6%	100.0%	接種者数/対象者数
④						
⑤						

現状と課題	<p>○小児救急医療体制の整備により確実な医療を確保し、安心して子育てができる環境づくりを進める必要がある。</p> <p>○小児感染症予防に関する普及啓発の推進と、各種予防接種の接種率の更なる向上を図る必要がある。</p>
-------	--

今後の方向性	<p>○医療体制の整備やはしかゼロに向けた1歳児プチ健診をはじめとする感染症予防の強化等を引き続き実施することにより、子どもの健康を保持・増進させていく。</p>
--------	---

施策の優先度	優先度についての説明・意見等
B	<p>次世代を担う子どもの疾病を予防し健康を保持するために、医療体制の整備や感染症予防の強化等は欠かせない施策であることから、重要な施策である。</p>

# 施策分析シート

No2

施策を構成する事務事業の優先度					
事務事業名	事務事業No	決算額（千円）		施策推進のための優先度	優先度についての説明・意見等
		平成16年度	平成17年度		
準夜間小児初期救急医療事業費	07-01-03	—	—	A	病状が急変しやすい子どもの健康を守る事業として欠かせない事業であり優先度は高い。
医療援助	07-02-03	9,456	9,445	C	予防接種による健康被害の救済のため必要な事業である。
予防接種費	07-02-04	153,554	136,730	A	感染症の発生を予防するため欠かせない事業であり優先度は高い。
結核予防接種	07-02-05	5,812	3,903	A	乳幼児の結核の発病や重症化を予防するため欠かせない事業であり優先度は高い。
アレルギー対策事業	07-02-25	579	462	C	乳幼児のアレルギー疾患の予防、療養支援に必要な事業であるがより効率的な運営の検討が必要である。
小児救急看護教室	07-02-26	88	99	B	不慮の事故による幼児の死亡を予防するため重要な事業である。
妊娠中毒症等医療給付事務	07-02-28	71	0	C	妊産婦の死亡や未熟児等の発生を予防するため必要な事業であり引き続き実施する。
未熟児養育医療給付	07-02-29	11,082	16,900	C	未熟児の死亡率を低下させるため必要な事業である。
小児慢性疾患医療費助成	07-02-34	—	—	C	小児慢性疾患に罹患している児童等の療養支援のため必要な事業である。
育成医療給付	07-03-16	3,213	4,298	C	身体に障害のある児童の自立を支援するため必要な事業である。
療育医療給付	07-03-17	0	0	C	結核り患児童の入院費用等を助成する事業であるが申請はほとんどないため現状を維持する。
合計		183,855	171,837		